

# 令和2年度 十勝農試定期作況報告 菜豆

月	作況	事由
6月20日	平年並	播種期は平年より2日早い5月26日であった。播種前後の降水が少なかったため出芽はばらついたが、気温が高めに経過したため、出芽期は平年より3~4日早かった。その後も降水量が少なかったため草丈は平年並~やや短いが、高温多照に経過したことから葉数は平年よりやや多い。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
7月20日	平年並	6月下旬の低温寡照で生育は一時停滞したが、7月上旬の天候回復により、開花始は平年より1~2日早かった。草丈は手亡類で平年を上回り、やや徒長気味であるが、金時類はほぼ平年並である。葉数・分枝数は、各品種ともほぼ平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
8月20日	平年並	8月上・中旬の高温により、手亡類、金時類とも登熟が進んでいる。平年と比べて、草丈は手亡類でやや高く、金時類でやや低い。いずれも分枝数は少ないが、葉数、着莢数はほぼ平年並である。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
9月20日	不良	8月が高温多照に経過したため、成熟期は平年と比べて金時類で8~12日、手亡類で15日早まった。着莢数はやや多く、一莢内粒数はほぼ平年並であったが、成熟期が早まり登熟期間が短くなった影響で、百粒重が平年より軽く、子実重は平年比85~92%と低収であった。屑粒率は平年並~少なかった。 以上のことから、現在の作況は不良である。
11月20日	不良	播種期は平年より2日早く、出芽期は3~4日早かった。6月下旬の低温寡照で生育は一時停滞したが、概ね平年並の生育で経過し、開花始は平年より1~2日早かった。8月以降の高温多照傾向により、登熟期間が短縮し、成熟期は平年より金時類で8~12日、手亡類で15日早まった。 金時類、手亡類とも着莢数はやや多く、一莢内粒数はほぼ平年並であったが、登熟期間が大幅に短縮した影響で、百粒重が平年より軽くなり、子実重は平年比85~92%と低収であった。屑粒率は平年よりやや少なかったが、金時類では被害粒とはならない程度の色流れ粒などが発生し、手亡類でも肥大不足による未熟粒がやや多く、検査等級はいずれも平年を下回った。 以上のことから、今年の作況は不良である。

## 生育データ

品種名	雪 手 亡			大 正 金 時			福 勝			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
項目/年次										
播種期(月日)	5.26	5.28	△ 2	5.26	5.28	△ 2	5.26	5.28	△ 2	
出芽期(月日)	6.4	6.7	△ 3	6.5	6.9	△ 4	6.6	6.10	△ 4	
開花始(月日)	7.17	7.19	△ 2	7.11	7.12	△ 1	7.12	7.13	△ 1	
成熟期(月日)	8.31	9.15	△ 15	8.23	8.31	△ 8	8.25	9.6	△ 12	
草丈 (cm)	6月20日	7.2	7.0	0.2	9.2	10.0	△ 0.8	8.6	9.6	△ 1.0
	7月20日	64.0	52.1	11.9	49.3	47.5	1.8	48.7	47.4	1.3
	8月20日	71.7	67.0	4.7	47.0	50.3	△ 3.3	49.3	54.0	△ 4.7
	9月20日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成熟期	68.0	64.0	4.0	48.3	48.9	△ 0.6	52.7	51.9	0.8
葉数 (枚)	6月20日	1.3	0.9	0.4	1.1	0.7	0.4	1.1	0.9	0.2
	7月20日	6.7	6.6	0.1	4.2	3.7	0.5	4.3	3.9	0.4
	8月20日	7.4	7.3	0.1	3.9	3.9	0.0	4.7	4.0	0.7
	9月20日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
主莖節数 (節)	成熟期	9.3	8.9	0.4	6.2	5.8	0.4	6.1	5.9	0.2
分枝数 (本/株)	7月20日	8.0	7.3	0.7	7.2	7.0	0.2	6.0	6.4	△ 0.4
	8月20日	6.6	8.7	△ 2.1	4.8	6.7	△ 1.9	4.4	6.5	△ 2.1
	9月20日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成熟期	8.6	7.2	1.4	6.3	5.9	0.4	5.8	5.5	0.3
着莢数 (莢/株)	8月20日	30.8	32.5	△ 1.7	18.3	17.5	0.8	16.2	17.6	△ 1.4
	9月20日	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	成熟期	30.8	28.5	2.3	18.6	16.9	1.7	17.2	15.8	1.4
一莢内粒数(粒)	4.58	4.20	0.38	2.53	2.72	△ 0.19	2.51	2.54	△ 0.03	
総重(kg/10a)	589	658	△ 69	474	476	△ 2	505	534	△ 29	
子実重(kg/10a)	322	349	△ 27	216	239	△ 23	233	275	△ 42	
百粒重(g)	31.0	35.0	△ 4.0	62.0	64.6	△ 2.6	71.5	82.1	△ 10.6	
屑粒率(%)	6.0	6.9	△ 0.9	16.3	17.8	△ 1.5	8.8	17.6	△ 8.8	
品質(検査等級)	2下	2中		4中	3中		3下	3上		
子実重対平年比(%)	92	100	△ 8	90	100	△ 10	85	100	△ 15	

- 備考 1) 平年値は、前7か年中、平成26年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5か年平均である。  
 ただし、9月20日の各調査項目の平年値は、年次により成熟期後となるため算出していない。  
 2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。  
 3) 屑粒は、病害粒、変色粒(色流れ)、未熟粒等を含む。  
 4) 品質(検査等級)は、旧農産物規格規定(普通いんげんの規格その1(素俵))に準ずるものである。

## 耕種概要

一区面積 (㎡)	区制	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	1株本数	株数 (株/10a)	播種日 (月日)
12	3	アカローハ	60	20	2	8,333	5.27
施肥量(kg/10a)							
N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	MgO	堆肥	その他		
4	20	11.2	4	なし	なし		